

令和4年度第1回碧南市芸術文化ホール指定管理者審査委員会 会議録

1 日時

令和4年5月21日（土） 午後2時から午後4時20分まで

2 場所

碧南市民図書館2階会議室

3 出席者及び欠席者

(1) 出席者 清水裕之（委員長）、伴野義雄、靱山勝人、石川善博、宮本美枝子、蜷川真弓

(2) 欠席者 遠山隆夫

(3) 事務局職員 教育部長 岡崎康浩、生涯学習課長 鈴木善三、生涯学習課課長補佐 山田光則、生涯学習課主事 柘植実佑子

(4) 指定管理者 芸術文化ホール館長 島英之、芸術文化ホール副館長 小林ひとみ

4 傍聴者 なし

5 議題

1 碧南市芸術文化ホール指定管理に関する点検評価について

2 令和3年度事業報告及び点検評価

6 議事の要旨

1 あいさつ（清水委員長、委員及び事務局）

2 議題

(1) 碧南市芸術文化ホール指定管理に関する点検評価について
事務局が会議資料に基づき、点検評価について説明した。

<主な意見・質疑>

なし。

(2) 令和3年度事業報告及び点検評価

指定管理者が会議資料に基づき、令和3年度事業報告について報告した。その後委員による点検評価を実施した。

<主な意見・質疑>

【A委員】 評価表に記載のパトロネージュ会員の運用状況は。

【A指定管理者】 企業からの協賛金の受け取り方法について、市と未調整であることから実施していない。

【B委員】入場者率については、入場者数を会場定数で算定するが、コロナ禍における人数制限後の定数とした場合は、制限後の定数にて算出してもよいのでは。

【A指定管理者】見直しを実施する。

【C委員】収支状況について、その他収入の予算は何を根拠にしているか。

【A指定管理者】テナント電気料やチケット委託料などの雑収入を計上している。例年の雑収入、助成金及び協賛金の見込み額を根拠に算出している。

【C委員】今後はその他収入ではなく、項目設定するとよい。

【A指定管理者】修正する。

【C委員】支出でサーモカメラ購入があるが、雑費ではなく、消耗品又はコロナ関連としての項目を設定してもよいのでは。

【A指定管理者】修正する。

【D委員】業務連絡及び緊急時対応がスタッフ間で出来ていることはとても良い。昨今、地震の発生が多いが、そのような災害時の対応策は考えられているか。

【A指定管理者】BCP作成が未実施であり、その取り組みが遅れている。

【D委員】事務所前のご意見箱は利用あるか。苦情又は改善例があれば教えてほしい。

【A指定管理者】多目的トイレの利用者から「ウォシュレットのワイヤレスの電池がなく、電源が切れていて使えなかった。」と意見があり、速やかに新しい電池の取替を行うと同時に、年1回は点検することとした。また、お詫び及び今後の取り組みについてメールした。

【E委員】エメラルド・カルチャークラブの1day講座はどのようにPRを行っているか。

【B指定管理者】インスタグラムへの制作物の掲載、スタッフが講座を受けた体験談を刊行物エメロードに掲載し、PRをしている。

【E委員】1day講座の参加人数が少ないのでは。

【B指定管理者】1day講座は、新しいチャレンジという認識。定期講座を企画し、人数が少ないと運営が難しいため、まずは1dayを実施した結果、人気があるものは定期講座に繋げている。今年度、内容が分かりやすい講座が人気であったため、参考に来年度の1day講座を考えたい。

【E委員】録音・録画の利用に対応するため、料金制度を変えた点は非常に良い取

り組みだと思う。基本料金は市の条例で決まっていると思うが、料金の減免は事前に市と協議し行っているのか、指定管理者の方である程度の減免は任されているのか。

【A指定管理者】市の条例で決められている金額以上の料金設定は、指定管理者は出来ない。基本料金を上限としながら、内容を提案し、市と協議及び許可を得た上で実施をした。

【E委員】基本料金の50パーセントで設定しているが、市は減免承認したのか。

【事務局】指定管理者からの承認申請を確認し、50パーセントで承認した。

【E委員】料金が安いという点で利用が増えていくと、さらに口コミで芸術文化ホールが周知されるとよい。